

140余年のコニシの文化を受け継ぎ、 未来へ歩み続ける



重要文化財 旧小西家住宅

1903年(明治36年)に完成した旧小西家住宅は、100余年の歳月を経て2001年(平成13年)に国の「重要文化財」に指定されました。

※内部非公開

コニシの創業

コニシ株式会社の歴史は、1870年(明治3年)に創業者である初代小西儀助が薬種商を買い受け、大阪薬種卸商組合に登録したことをもって始まります。

その後、二代目儀助の時代には、「朝日麦酒」の製造・販売に乗り出す一方、ワインの製造にも取り組み「赤門印葡萄酒」を世に送り出します。また1903年(明治36年)には、320坪余りの敷地に3年の工期を経て本社社屋が完成。薬種問屋業に専念し、やがて商社として名を馳せませす。そして1925年(大正14年)に、株式会社小西儀助商店を設立。現在のコニシの母体がここに誕生しました。



「朝日麦酒」を製造・販売



「赤門印葡萄酒」を製造・販売

「ボンドのコニシ」誕生

そんな中、顧客のニーズを背景に東京工場では合成接着剤の研究が行われていました。そして1952年(昭和27年)、ついに合成接着剤「ボンド」第一号として製袋用と無線綴製本用を発売します。その後木工用接着剤の製造にも着手し、わが国初となる木工用酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤の開発を皮切りに、以降、ラベルや袋の接着、学校工作用などの販路を広げ、日本の経済成長とともに住宅、建築、土木など、各業界にその用途は飛躍的に拡大し、やがて「ボンドのコニシ」として定着しました。



ボンド 木工用を発売し好評を得た時代の広告



ボンドBシリーズ(無線綴製本用)発売

進化を続けるコニシ

1976年(昭和51年)には、株式会社小西儀助商店からコニシ株式会社へ社名を変更。そして1994年(平成6年)大阪証券取引所市場第二部へ上場。その後、1997年(平成9年)には東京証券取引所市場第一部ならびに大阪証券取引所市場第一部への上場も果たしました。

こうして140余年にもわたる長い歳月を歩んできたコニシ株式会社。創業からの流れを汲む化成品事業、接着剤のメーカーとしてのボンド事業を2つの柱としてますますグローバルに事業を拡大し、生活と産業、さらに地球規模での環境問題など、様々な課題に取り組み、確かな歩みを続けていきます。



大阪証券取引所市場第二部へ上場時

コニシに関する情報は、
インターネットホームページでも
ご提供しています

<http://www.bond.co.jp/>

- ・企業情報
- ・商品情報
- ・製品カタログ
- ・製品安全データシート(MSDS)
- ・IR関連資料
- ・環境への取り組み など

製品に関するお問い合わせ

・接着相談室 **0120-28-1168**

開設時間 / 10:00~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝・夏期休暇・年末年始は除く)



1962年(昭和37年)頃のマスコット
ボンちゃん